

自由に使える読書感想文使用条件

① コンクール・コンテスト等の応募には使用しないこと。

② 学校提出用に限って著作権フリー、そのまま使ってもいいし、手を加えるのも良しとする。

③ パクリ・コピーがばれても、自己責任（悪いのは自分）とし、センセイに思いつきりしかられること。

④ パクリ・コピーがばれるかどうか不安ならば使用しないこと。

⑤ パクリがばれそうになったら「これはオリジナルだ！」と最後まで言い張る根性を見せること。

⑥ 他のホームページに掲載しないこと。
⑦ 他のホームページから読書感想文へ直リンクしないこと。
⑧ 「読書感想文」から解放された時間で夏休

みのすてきな思い出を作ることに。



『運動会で1番になる方法』読んで
 夏休みも終わりに近づくと、毎年、憂うつ
 な気分になる。もうすぐ運動会があるからだ
 ぼくは足が遅い。一生懸命走っても、ゴー
 ルをするのは最後だ。先頭を走るクラスメイ
 トとの差は、十メートル以上はあるだろう。
 縮まることのない永遠の距離に思えてしま
 う。運動会の一週間前になると、ぼくの足が遅
 いのはどちらに似たかといふ父と母は言い合
 いになる。二人とも速い方ではなかったよう
 が、祖父母の話によると、ぼくほど遅いとい
 うこともなかったらしい。どっちもどっちで
 足の速い子どもが生まれるわけではないのだ
 が、親同士が言い争いをする姿は見ていて悲
 しい。先日、書店で『運動会で1番になる方
 法』という本を見つけた。本当だろうか？一
 番になれるのだろうか？父の本棚には『株
 儲かる』といったタイトルの本が数冊あつた。

しかし、我が家がお金持ちになった様子はな
い。この本を買っても、父と同じような思い
をするだけなのかもしれない。
しかし、一等にはなれなくても、ビリにだ
けはなりたくない。もしかしたら：：、そん
な思いが強くなった。定価千四百円＋消費税
小学生のぼくには大金だ。プールに行こうと
いう友達の誘いも断ることになるだろう。
だが、ビリからの脱出、その誘惑には勝て
なかつた。気がつくともレジでお金を払ってい
た。レジのおねえさんがきれいな人だったの
で、少し恥ずかしかった。
家に帰って、『運動会で1番になる方法』
を読み始めた。運動会の駆けっこと思ってい
たが、奥が深い。一度読んだだけでは理解で
きない箇所は、二度、三度と繰り返し読んで読ん
だ。漫画以外でこれほど夢中になって本を読
んだのは初めてだ。
夕食の時間になっても姿を見せないぼくの
ことを心配した母が、部屋に入ってきた。そ

のときだ、一心不乱に読んでいたのが『運動
会で1番になる方法』と分かってしまった。
だが、母は少しうれしそうだった。運動会で
ビリになっても悔しがるそぶりも見せないば
くは、物足りなさを感じていたのかもしれない。
い。次の日の夕食はちよっぴり豪華だった。
今、毎朝、近所の公園で、父と一緒に練習
をしている。早朝なので、人の姿はないが、
何となく恥ずかしい。しかし、ビリにはなり
たくない。父も何度も繰り返し『運動会で1
番になる方法』を読んだのだろう、「つま先
は真つすぐ！」「股関節でモモを引き上げ
ろ！」「腕の角度は90度だ！」「と、本に書い
てあるまんまのアドバイスが飛ぶ。単なる受
け売りなのだが、本人はスポ根漫画に登場す
る鬼コーチにでもなった気分なのだろう。
本当に足が速くなったのかどうか、まだ分
からない。でも、運動会まで一ヶ月以上もあ
る。今年にはならないかもしれない。
毎日の早朝練習がそう思わせてくれる。